

氏名	吉村 基宜	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	基礎看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2006-2010年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 2015-2018年 埼玉県立大学大学院看護学研究科博士前期課程				
経歴	2010-2015年 東京都済生会中央病院 2016年- 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本看護学教育学会、日本保健医療福祉連携教育学会、 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本パラスポーツ看護学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		専門職連携教育（IPE）評価尺度の因子構造および信頼性・妥当性の検討	研究代表者		2019.4～2025.3 ※期間延長
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究分担者		2019.4～2025.3 ※期間延長
3	受託研究（ナカ工業）		高齢者・障がい者の住宅トイレでの排泄動作と補助具の使用状況	研究分担者		2020.4～2024.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	IPW論		16	科目担当として運営および、専門職連携に関する講義（1コマ）を行った。		
2	ヒューマンケア論		1	多職種連携「チームについて考える」をテーマに講義（1コマ）を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	看護方法Ⅰ		16	科目担当として、運営案の検討、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。 1年次生を対象としているため、初学者にとって分かりやすい指導に努めた。		

2	看護方法Ⅱ		16	科目責任者として、授業案の作成・運営・講義・演習を行った。 学生が主体的に学びが深められるよう、グループ学習を通して、多様な視点から看護技術の根拠や留意点について考えられるような関わりを行った。
3	看護方法Ⅲ		16	科目担当者として、科目における物品準備・片付け・演習時の学生指導等の運営補助を行った。
4	看護方法Ⅳ		16	科目担当者として、科目における物品準備・片付け・演習時の学生指導等の運営補助を行った。
5	看護方法Ⅴ		16	科目担当者として、科目における物品準備・片付け・演習時の学生指導等の運営補助を行った。
6	看護過程論		16	科目担当者として、グループワークにおける指導の運営補助を行った。 看護を展開する上で、科学的に捉えることを意識するよう関わった。

### (3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		【学内実習】 2023.9.25～9.29	1年次生を対象に、グループワークを通して、コミュニケーションやグループ活動、保健医療福祉への関心、多様性についての指導を行った。 今年度も新型コロナウイルスの影響により、全て学内で実施した。
2	基礎看護学実習Ⅰ		【学外実習】 2024.2.19～2.22 【学内実習】 2コマ+1日	1年次生を対象に、実習指導を行った。 科目責任者と共に事前準備等を行った。 療養環境（患者）と看護活動（看護師）の視点から、看護を捉えられるよう指導を行った。 また、初めての臨地実習であるため、精神的フォローと安全に実習が行えるよう留意した。
3	基礎看護学実習Ⅱ		【学外実習】 <1クール目> 2023.10.2～10.13 <2クール目> 2023.10.16～ 10.27 【学内実習】 9/20（4コマ）	2年次生を対象に、実習指導を行った。 科目責任者と共に運営案の検討や、事前準備等を行った。 初めての受け持ち看護実習として、系統的に看護過程が実践できるよう指導を行った。 主体的に実習に臨めるよう、カンファレンスを通してグループダイナミクスが効果的に発揮できるような関わりを意識した。

### (4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.3～2023.12	主指導	2名
2	その他（越谷市立病院看護研究査読）	2023.6.19,11.30, 12.16,12.21	7部署	副指導

### (5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

### 4. 社会貢献活動

#### (1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	公開講座	埼玉県立大学	「からだ」のおはなし会	2023.8.22
2	高校出張講座	埼玉県立大学	看護学入門～看護って何だろう～	2023.11.9

#### (2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		

#### (3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月

1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目		内容
1	学生支援		4年生担任
2	学科等における委員会等		彩の国連携育成プロジェクト(大学間連携運営連絡会議、IPW総合課程)
3	学科等における委員会等		基礎看護学領域感染症係
4	学科等における委員会等		基礎看護学領域卒業研究運営担当
5	学科等における委員会等		基礎看護学領域春日部市立医療センター実習窓口担当
6	学科等における委員会等		看護方法Ⅰ・Ⅴ科目担当
7	学科等における委員会等		基礎看護学実習Ⅰ科目担当
8	学科等における委員会等		基礎看護学実習Ⅱ科目担当
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名		主催
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名		特許番号
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		